

気仙沼市を支えていただいた皆様へ

平成23年3月11日、あの東日本大震災から早いもので2年3ヶ月が経ちました。

当時、私たちは、目の前で大切な家や慣れ親しんだ風景、そしてかけがえのない人さえもが津波で押し流され、深い悲しみと絶望に打ちのめされておりました。

交通網が麻痺し、自らがソリンや食料の調達もままならない状況下において、いち早く駆けつけて下さったこと、傷ついた市民に寄り添い、時には共に涙しながらボランティア活動をしていただいたこと、時が経ち、徐々に減っていく震災の報道に不安を感じる中で、私たちを励ますように足を運んでいただいたことに気仙沼市民を代表し心より感謝申し上げます。

私たちはそうした皆様の思いに励まされ、支えられて今日まで走り続けることができました。

本当は、皆様に来ていただいたあの時に、感謝の気持ちをお伝えしながら、本市自慢の海の幸でもてなし、美しい景色を見ていただきたかったのですが、それも叶わず、大変残念に、そして申し訳なく思っております。

また、皆様の中には、混乱の中で当方の受け入れ態勢が整わず、ご不快な思いをされた方もいらっしゃると思います。ここに深くお詫び申し上げます。

皆様の思いに報いるためにも、必ずや力強い復興を果たし、胸を張って皆様をお迎えしたいと思っておりますが、本市の復興に向けて、私たちはまだまだ長く険しい道のりを歩んでいかなければなりません。

皆様には、今後とも本市に関心を寄せていただき、復興の様子を見守っていただければ、こんなに心強いことはありません。

どうか、末永いお付き合いを頂ければ幸いです。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸をご祈念し、これまで支えていただいたことに対しましての御礼とさせていただきます。

平成25年6月

気仙沼市長 菅 原 茂

大島地区復興協議会